

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2016年8月

こんにちは。鳥取県東南アジアビューローの辻です。

当ビューローが拠点を置くタイの東隣、世界的にも有名で東南アジア最大規模を誇る世界文化遺産のアンコールワットがあるカンボジアですが、1970年代には内戦やポル・ポト派による大量虐殺など、悲劇的な時代がありました。その後、1990年代に国連カンボジア暫定統治機構（UNTAC）により和平が進み、1999年に現在の加盟国としては最後の10カ国目として、ASEAN加盟を果たし、その後も2004年にWTOへも加盟するなど、着実に国際社会への復帰の道を歩んできました。



アンコールワット

その後、国内の政治と治安が安定してきたのを契機に、2010年ごろから日本からの投資（製造業、商社、輸出加工企業、小売業、ホテル業など）が進んでいます。

今回はタイタイプラスワンの拠点としても注目をされているカンボジアについてご紹介します。

【カンボジア基本情報】

データ出所：外務省

1. 正式国：カンボジア王国（Kingdom of Cambodia）
2. 人口：14.7百万人
3. 国土：18.1万平方キロメートル（日本の約2分の1弱）
4. 首都：プノンペン（人口200万人）
5. 気候：熱帯モンスーン気候に属し、乾季と雨季に分かれる。

乾季（11月上旬～5月中旬） 雨季（5月下旬～10月下旬）

6. 民族：カンボジア人（クメール人）が90%とされている
7. 宗教：仏教（一部少数民族はイスラム教）

◇◆◇カンボジアの経済概況と日系企業の進出状況◆◆◇

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
実質GDP成長率 (%)	7.07	7.31	7.43	7.07 ※	6.92 ※
1人当たりGDP (USD)	877.64	945.7	1,010.39 ※	1,095.62 ※	1,168.04 ※

※IMFによる2016年4月時点の推計

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2016年8月

カンボジアで特筆すべき事は、外資規制がほぼないということです。これは、参入障壁を非常に低くして外国からの投資を奨励する政策をとっているからです。

カンボジアでは、他の多くの東南アジアの国で国内企業の保護の観点から規制が入る小売やサービス業も独資で法人を設立することが出来ます。外国人（外国法人）に認められないのは、土地を所有することだけです。それ以外は法的には内国人と同様の取り扱いです。

カンボジアへの投資は、以前より中国や韓国が大きな割合を占めておりました。しかし日系企業も人件費が高騰している中国やタイから労働集約的な事業を移管させる事を目的として最低賃金の低かったカンボジアへの進出が増加しました。

この傾向は、2011年以降に顕著になりました。商業省に登録した日系企業数（駐在員事務所・支店・現地法人）は2011年度が86社、2012年度は100社を超える勢いで企業の数が大きく伸びました。2006年には14社であったカンボジア日本人商工会議所の正会員数は現在176社まで増加しています。



<外資企業の進出状況>

製造業

ミネベア（小型モーター）が2011年12月に自社工場を稼働させ、その後、住友電装（自動車用ワイヤーハーネス）や矢崎総業（自動車部品）が進出し、2013年には自動車部品大手のデンソーが、マグネトー（二輪車用発電機）用センサー部品の生産を開始いたしました。インフラや駐在員の生活環境を考慮し、製造業の多くはプノンペン経済特区に進出しております。（ミネベア、住友電装、デンソーetc）

その他、タイとの製造分業（タイ+1）を重要視し、タイ国境付近の経済特区に進出する企業も数社見受けられます。（コッコン経済特別区:矢崎総業、ポイペト経済特区:日本電産、日本発条）

その他、縫製業などの進出が多い傾向にあります。上記の地図で確認できますが、首都であるプノンペン以外は、タイ・ベトナム国境付近に経済特区があるのはカンボジアの特徴と言えます。

サービス業

2014年にイオンモールがプノンペンに開業いたしました。その結果、イオンモールに入居する飲食店をはじめとする様々な業種の進出を後押しいたしました。なお、現在イオンモールは2号店の建設中です。最近では10月7日に焼肉店「牛角」がカンボジア1号店をプノンペンにオープンする予定です。

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2016年8月

当初よりサービス業に関する外資規制がない事から、近隣諸国と比較して小規模な企業・個人の進出も目立ちます。また、ベトナム・ホーチミンで成功している日系飲食店が進出しているのもカンボジアの特徴と言えます。不動産関係では、タマホームがサービスアパートやホテル、東横インがビジネスホテルを運営しています。



カンボジアの首都・プノンペンの夜景

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau
担当：辻 三朗 Saburo Tsuji
Address: 1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,
Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110
Tel : +66-(0)-2-260-1057
Mobile : +66-(0)-86-358-7298
Mail : tottori@aapth.com

当拠点の運営法人（鳥取県より業務委託）

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2016年8月

ワンページタイ経済

項目	単位	2013	2014	2015	2016
GDP 成長率	前年比ベ (%)	2.80	0.9	2.8	3.4 (1~6月)
人口*	千人	68,382	67,065	67,293 (12月)	67,386 (5月)
労働者の数*	千人	39,808	38,963	39,165	38,701 (6月)
失業率**	%	0.72	0.84	0.89	1.01 (6月)
最低賃金*	バンコク	300	300	300	300
	チョンブリー	300	300	300	300
	アユタヤー	300	300	300	300
	ラヨーン	300	300	300	300
賃金：全国製造業の平均	バーツ	11,066	12,074	12,305	12,268 (6月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	2.19	1.90	▲0.90	▲0.10 (6月)
中央銀行政策金利*	%	2.25	2.00	1.50	1.5 (7月)
普通貯金率**	%	0.68	0.59	0.56	0.47 (7月)
ローン金利(MLR) **	%	7.16	6.96	6.75	6.53 (7月)
SET 指数*	1975年：100	1,298.7	1,497.7	1,288.0	1,524.1 (7月)
バーツ/100円**	バーツ	31.53	30.77	28.31	32.08 (7月)
バーツ/米ドル**	バーツ	30.73	32.48	34.25	35.42 (7月)
円/米ドル**	円	97.6	105.84	121.0	110.7 (7月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	1,337,631	884,346	795,905	383,046 (6月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,016	1,662	2,237	763 (6月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	1,027.3	729.4	809.4	283.1 (6月)

*期末、**平均